

聖書における裁きの包括的な研究

導入

聖書における裁きの概念は多面的であり、善悪を見分ける人間の責任、正義を貫く神の権威、そして審判の日として知られる終末論的な最終的な裁きを包含しています。旧約聖書と新約聖書の両方の教えに根ざした裁きは、神の義、慈悲の重要性、そして人間、天使、そして世界そのものを含むすべての被造物の責任を思い起こさせる役割を果たします。この文書は、主要な聖書の節を論理的な思考の階層に整理し、裁きの人間的側面から神の原則、信者の役割、そして終末の出来事へと進みます。聖書のみを資料として用いるこの構成は、裁きが現在の倫理的指針と将来の神の現実の両方としてどのように描かれているかを理解するための包括的な学習ツールを提供することを目的としています。節は参照と本文（主に英語標準訳、NIV または異訳の注釈付き）とともに提示され、アイデアが重複する箇所での相互参照を可能にしながら、漏れがないようにしています。

I. 判断における人間的側面

A. 偽善的または不当な判断に対する警告

1. 一般的な禁止事項と公平性を求める声

- レビ記 19:15：正義を曲げてはならない。貧しい者をえこひいきしたり、権力者を最良したりしてはならない。隣人を公平に裁きなさい。（新国際版聖書）
- 箴言 31:9：声を上げて正しく裁き、貧しい者や困窮している者の権利を守れ。（新国際版聖書）
- マタイによる福音書 7:1-5：裁いてはならない。そうすれば、あなた方も裁かれない。あなたがたが裁く裁きで、あなたがたも裁かれ、あなたがたが量る尺度で、あなたがたも量られるからである。なぜあなたは兄弟の目にある塵を見るのに、自分の目にある丸太に気づかないのか。自分の目に丸太があるのに、どうして兄弟に「あなたの目から塵を取り除かせてください」と言えるのか。偽善者よ、まず自分の目から丸太を取り除きなさい。そうすれば、兄弟の目から

塵を取り除くことがはっきりと見えるようになるだろう。

- マタイによる福音書 7:2: あなたがたが裁く裁きで、あなたがたも裁かれ、あなたがたが量る尺度で、あなたがたも量られるからです。
- ルカによる福音書 6:37-38: 裁いてはならない。そうすれば、あなた方も裁かれない。非難してはならない。そうすれば、あなた方も非難されない。赦しなさい。そうすれば、あなた方も赦される。与えなさい。そうすれば、あなた方も与えられる。良い量りで、押し詰め、揺り動かし、あふれるほどに、あなた方の懐に注ぎ込まれる。あなた方が用いる量りで、あなた方も量り返されるからである。
- ヨハネによる福音書 7:24: 外見で判断してはならない。正しい判断力をもって判断しなさい。
- ローマ人への手紙 2:1-3: ですから、人を裁く者よ、あなたには言い訳の余地はありません。なぜなら、人を裁くことによって、あなた自身も罪を犯しているからです。裁くあなた自身も、同じことをしているのです。私たちは、そのような行いをする者には神の裁きが正しく下ることを知っています。そのような行いをする者を裁きながら、自分自身も同じことをしているあなたは、神の裁きを免れることができるかとも思っているのですか。
- ローマ人への手紙 2:1: だから、人を裁く者よ、あなたには言い訳の余地はない。なぜなら、人を裁くことによって、あなた自身も罪を犯しているからである。
- ヤコブ 4:11-12: 兄弟たちよ、互いに悪口を言ってはならない。兄弟を悪く言う者、兄弟を裁く者は、律法を悪く言い、律法を裁く者である。律法を裁く者は、律法を行う者ではなく、裁く者である。律法を与え、裁く方はただ一人、救うことも滅ぼすこともできる方である。それなのに、あなたは隣人を裁く者なのか。

2. 軽蔑やつまづきを避ける

- マタイによる福音書 6:1-34: (裁きを避けるために人知れず義を行うことに関する詳細な記述。要点: 人に見られるために人前で義を行うことに注意しなさい。そうしなければ、天におられる父から報いを受けることはないでしょう。)
- マタイによる福音書 7:12: だから、人にしてもらいたいと思うことは何でも、人にもしなさい。これが律法と預言者である。
- ルカによる福音書 6:31-42: (黄金律と判断; 要点: 人にしてもらいたいと思うことを人にもしなさい…なぜあなたは兄弟の目にある小さな塵に気づくのに、自分の目にある丸太に気づかな

いのか?) (NIV)

- ヨハネによる福音書 8:1-8: (姦淫の現場で捕らえられた女。要点：あなたがたの中で罪のない者が、まず彼女に石を投げなさい。) (新国際版聖書)
- ローマ人への手紙 12:16-19: 互いに調和して生きなさい。高慢にならず、身分の低い人々と交わりなさい。決して自分を賢いと思っはいけません。だれに対しても悪をもって悪に報いてはなりません。むしろ、すべての人の前で立派な行いを心がけなさい。できる限り、あなたがたはすべての人と平和に暮らしなさい。愛する者たちよ、決して自分で復讐してはなりません。神の怒りに任せなさい。(新国際版聖書)
- ローマ人への手紙 12:19: 愛する者たちよ、決して自分で復讐してはなりません。むしろ、神の怒りに任せなさい。なぜなら、「復讐はわたしのもの、わたしが報復する」と主は言われるからです。
- ローマ人への手紙 14:1-13: (議論の余地のある事柄について裁きを下さないことに関する章全体。要点：信仰の弱い人を受け入れ、議論の余地のある事柄について争わないこと…ですから、もはや互いに裁き合うのはやめましょう…)
- ローマ人への手紙 14:3-4: 食べる者は食べない者を軽蔑してはならず、食べない者も食べる者を裁いてはならない。神は彼を受け入れてくださったのだから。あなたは他人のしもべを裁く者なのか。そのしもべは、自分の主人の前で立つか倒れるかするのだ。しかし、彼は必ず立つ。主は彼を立たせることができるからである。
- ローマ人への手紙 14:10-12: なぜあなたは兄弟を裁くのですか。また、なぜあなたは兄弟を軽蔑するのですか。私たちは皆、神の裁きの座の前に立つからです。聖書にこう書いてあります。「わたしは生きている、と主は言われる。すべてのひざはわたしにひざまずき、すべての舌は神を賛美する。」ですから、私たちはそれぞれ自分の行いを神に申し開きしなければなりません。
- ローマ人への手紙 14:10：なぜあなたは兄弟を裁くのですか。また、なぜあなたは兄弟を軽蔑するのですか。私たちは皆、神の裁きの座の前に立つからです。
- ローマ人への手紙 14:12-13: ですから、私たちはそれぞれ自分の行いを神に申し開きしなければなりません。ですから、もはや互いに裁き合うのはやめて、むしろ兄弟の前に決してつまずきの石や妨げとなるものを置かないように決心しましょう。
- ローマ人への手紙 14:12: ですから、私たちはそれぞれ自分のことを神に申し開きしなければ

なりません。

- コリント人への手紙第一 8:7-13: (良心と、他人をつまづかせないことについて。要点：しかし、すべての人がこの知識を持っているわけではありません。ある人々は、以前偶像と交わっていたために、偶像に捧げられた食物を食べ、弱い良心によって汚されています…)
- ガラテヤ人への手紙 6:1-6: 兄弟たちよ、もし誰かが何らかの過ちに陥ったなら、霊的な者であるあなたがたは、柔和な心でその人を立ち直らせなさい。そして、自分自身も誘惑されないように気をつけなさい。(新国際版聖書)
- エペソ人への手紙 4:29: あなた方の口からは、人を汚すような言葉は一切出てはなりません。むしろ、聞く人に恵みを与えるために、時宜にかなった、人を励ます良い言葉だけを語りなさい。

B. 洞察力と賢明な判断力を養う

1. 識別力の源泉 (神、実践、聖書から)

- 箴言 2:6-9: 主は知恵を与え、その口から知識と理解が与えられる。主は正しい者のために健全な知恵を蓄え、誠実に歩む者の盾となり、正義の道を守り、聖徒たちの道を護る。そうすれば、あなたは義と正義と公平、すべての良い道を理解するであろう。
- 箴言 3:21-23: わが子よ、これらを忘れてはならない。健全な知恵と分別を保ちなさい。これらはあなたの魂の命となり、あなたの首を飾る。そうすれば、あなたは安全に道を歩み、あなたの足はつまづくことはない。
- コリント人への手紙第一 2:14-15: 自然人は神の霊の事柄を受け入れません。それは彼にとって愚かなことであり、霊的に見分けられるものなので、理解することができないからです。霊的な人はすべてのことを判断するが、自分自身はだれからも判断されない。
- ヘブライ人への手紙 4:12: 神の言葉は生きていて力があり、どんな両刃の剣よりも鋭く、魂と霊、関節と骨髄を切り裂き、心の思いと意図を見分けることができるからです。
- ヘブライ人への手紙 5:12-14: あなたがたは、今や教師になっているべきなのに、神の言葉の基本的な教えをもう一度教えてもらう必要があるのです。あなたがたには固い食物ではなく、乳が必要です。乳を飲んでいる者は皆、義の言葉に熟達していないからです。彼は子供なのです。しかし、固い食物は成熟した人のためのものです。彼らは、絶え間ない訓練によって識別力を鍛え、善悪を見分けることができるのです。

- ヤコブ 3:17: しかし、上からの知恵は、まず清く、次に平和で、温和で、理性的で、あわれみと良い実とに満ち、偏見がなく、誠実です。
- テモテへの第二の手紙 3:14-17: しかし、あなたは学んだことを守り続けなさい。聖書はすべて神の靈感によって書かれたもので、教え、戒め、矯正し、義の訓練のために有益です。(新国際版聖書)

2. 検証と調査 (霊、教え、その他すべて)

- テサロニケ人への手紙第一 5:21-22: しかし、あらゆることを吟味し、良いものをしっかりと守りなさい。あらゆる悪から遠ざかりなさい。
- ヨハネの手紙一 2:3-6: 私たちが神を知っていることは、神の戒めを守ることによって分かります。神を知っていると言いながら、神の戒めを守らない者は偽り者であり、真理はその人のうちにはありません。しかし、神の言葉を守る者には、神の愛が真に完成されています。これによって、私たちが神のうちにいることが分かります。神のうちにとどまっていると言う者は、神が歩まれたように歩むべきです。
- ヨハネの手紙一 3:23-24: そして、これが神の戒めです。すなわち、御子イエス・キリストの名を信じ、神が私たちに命じられたとおりに、互いに愛し合うことです。神の戒めを守る者は神のうちにとどまり、神もその人のうちにとどまります。そして、神が私たちに与えてくださった御霊によって、私たちは神が私たちのうちにとどまっておられることを知るのであります。
- ヨハネの手紙一 4:1-13: 愛する者たちよ、すべての霊を信じてはなりません。それが神からのものかどうかを確かめるために、霊を吟味しなさい。なぜなら、多くの偽預言者が世に出て行ったからです。(霊を吟味することと愛について詳しく述べています。)

C. 紛争や生活上の問題を判断する際の人間の役割

1. 信者の間で (世俗の裁判所よりも聖人を優先する)

- コリント人への手紙第一 4:5: ですから、主が来られる時まで、つまり、闇の中に隠されているものを明らかにし、心の意図をも明らかにされる時まで、裁きを下してはなりません。その時、一人ひとりが神から称賛を受けるでしょう。
- コリント人への手紙第一 6:1-6: あなたがたのうちの一人が他の兄弟に対して不満を抱いたとき、聖徒たちの前でではなく、不義なる者たちの前で訴訟を起こす勇気があるでしょうか。それとも、聖徒たちが世を裁くことを知らないのですか。世をあなたがたが裁くのであれば、些

細なことを裁く能力がないというのでしょうか。私たちが天使たちを裁くことを知らないのですか。まして、この世の事柄についてはなおさらです。ですから、そのような問題を抱えているのに、なぜ教会の中で何の権限もない者たちの前に持ち出すのですか。私はあなたがたの恥のために言います。兄弟間の争いを解決できるほど賢い人があなたがたの中に一人もいないのに、兄弟が兄弟を訴え、しかも不信者の前で訴訟を起こすのでしょうか。(文書中の NIV 訳)

- コリント人への手紙第一 6:1-5: あなたがたのうち、隣人に対して訴訟を起こすとき、あえて不義なる者の前で訴訟を起こし、聖徒たちの前には起こさない者がいるのでしょうか。それとも、聖徒たちが世を裁くことを知らないのですか。世を裁くのがあなたがたであるなら、最も小さな法廷を設ける資格がないというのですか。私たちが天使たちを裁くことを知らないのですか。まして、この世の事柄についてはなおさらです。このように、この世の事柄を扱う法廷を設けているのに、教会では何の役にも立たない者たちを裁判官に任命するのですか。私はあなたがたの恥をかかせるために言います。あなたがたの中に、兄弟たちの間で裁きを下せる賢い人が一人もいないのですか。

2. より大きな批判を避けるための自己批判

- コリント人への手紙第一 11:31: しかし、もし私たちが自分自身を正しく判断するならば、私たちは裁かれないでしょう。
- コリント人への手紙第一 9:27: しかし、私は自分の体を鍛え、服従させています。それは、他の人に福音を宣べ伝えた後、自分自身が失格者とならないためです。

II. 神の裁きの原理

A. 究極の裁き主としての神の権威

1. 神の裁きにおける正義と公平性

- 詩篇 98 篇 9 節: 主の御前に。主は地を裁くために来られる。主は正義をもって世界を裁き、公平をもって諸国の民を裁かれる。
- イザヤ書 54 章 17 節: あなたに対して作られる武器はどれも成功せず、あなたを裁こうとして立ち上がる舌はすべて、あなたが論破するであろう。これは主のしもべたちの嗣業であり、わたしからの彼らの弁護である、と主は言われる。
- ダニエル書 7:9-10: 私が見ていると、玉座が置かれ、日の老いたる方が座に着かれた。その衣

は雪のように白く、頭の毛は純毛のようであった。その玉座は燃える炎であり、その車輪は燃える火であった。火の流れが流れ出て、その前から出て行った。幾千幾万もの者がその方に仕え、幾万幾万もの者がその前に立っていた。法廷が開かれ、書物が開かれた。

- 使徒行伝 17:31: なぜなら、神は、ご自身が任命された人によって、義をもって世を裁く日を定めておられるからです。そして、神はその人を死者の中からよみがえらせることによって、すべての人にこのことを確証されたのです。
- ペテロの手紙第一 1:17: もしあなたがたが、一人ひとりの行いに応じて公平に裁かれる方を父と呼ぶなら、あなたがたは流刑の間、常に畏敬の念をもって生活しなさい。
- ペテロの手紙第一 4:5: しかし、彼らは生きている者と死んだ者を裁く用意のある方に言い開きをしなければなりません。
- ペテロの手紙第一 4:17: 裁きは神の家から始まる時が来たのです。もしそれが私たちから始まるなら、神の福音に従わない者たちはどうなるでしょうか。

2. 行い、秘密、そして心の裁き

- 伝道の書 12:14: 神はすべての行いを、善悪を問わず、すべての隠された事柄と共に裁きにかけられる。
- ローマ人への手紙 2:5-12: しかし、あなたがたは頑なで悔い改めない心のために、神の正しい裁きが明らかにされる怒りの日に、自分自身のために怒りを積み重ねているのです。(報いと罰について続く)
- ローマ人への手紙 2:5: しかし、あなたがたは頑なで悔い改めない心のために、神の正しい裁きが明らかにされる怒りの日に、自分自身のために怒りを積み重ねているのです。
- ローマ人への手紙 2:12: 律法なしに罪を犯した者は、律法なしに滅び、律法の下で罪を犯した者は、律法によって裁かれるからです。
- ローマ人への手紙 2:16: その日、私の福音によれば、神はキリスト・イエスによって人々の隠されたことを裁かれるのです。
- ローマ人への手紙 6:23: 罪の報酬は死ですが、神の賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠の命です。
- ヘブライ人への手紙 13:4: 結婚はすべての人に尊ばれるべきであり、結婚の床は汚されてはな

らない。神は淫行を行う者と姦淫を行う者を裁かれるからである。

B. 任命された裁判官としてのイエス・キリストの役割

1. 父から委任された権限

- ヨハネによる福音書 5:21-30: 父が死人をよみがえらせて命を与えるように、子もまた、自分の望む者に命を与えます。父はだれをも裁かず、すべての裁きを子に委ねられました。それは、すべての人が父を敬うように、子をも敬うためです。子を敬わない者は、子を遣わされた父をも敬いません。まことに、まことに、あなたがたに言います。わたしの言葉を聞き、わたしを遣わされた方を信じる者は、永遠の命を得ます。その人は裁きを受けることなく、死から命へと移ったのです。「まことに、まことに、あなたがたに言います。死者が神の子の声を聞く時が来ます。今がその時です。そして、聞いた者は生きるでしょう。父がご自身の中に命を持っておられるように、子にもご自身の中に命を持つこととお与えになったからです。また、子は人の子であるゆえに、裁きを行う権威をお与えになりました。このことに驚いてはいけません。墓の中にいるすべての者が子の声を聞いて出てくる時が来るからです。善を行った者は命の復活に、悪を行った者は裁きの復活に至るのです。私は自分からは何もできません。私は聞くままに裁きます。そして私の裁きは正しいのです。なぜなら、私は自分の意志ではなく、私を遣わされた方の意志を求めているからです。(裁きの権威と結びついた復活の文脈を含めるように拡張。)
- ヨハネによる福音書 5:22: 父はだれをも裁かず、すべての裁きを子に委ねられた。
- 使徒行伝 10:42: そして彼は、人々に福音を宣べ伝え、彼こそが神によって生者と死者を裁くために任命された方であることを証しするようにと私たちに命じた。

2. イエスの言葉と教えによる裁き

- ヨハネによる福音書 12:46-48: わたしは光として世に来た。わたしを信じる者はだれでも闇の中にとどまらないためである。わたしの言葉を聞いても守らない者がいても、わたしはその人を裁かない。わたしは世を裁くために来たのではなく、世を救うために来たのである。わたしを拒み、わたしの言葉を受け入れない者には裁く者がいる。わたしが語った言葉が、終わりの日にその人を裁くであろう。
- ヨハネによる福音書 12章 47-48節：(上記と同様。イエスの教えを基準とする。)
- ヨハネによる福音書 12:48: わたしを拒み、わたしの言葉を受け入れない者には裁く者がいる。わたしが語った言葉が、終わりの日に彼を裁くであろう。

3. キリストを通じた救いと弁護

- ヨハネによる福音書 3:16-18: 神は、実に、世を深く愛されたので、独り子を与えられた。それは、御子を信じる者が一人も滅びることなく、永遠の命を得るためである。神が御子を世に遣わされたのは、世を裁くためではなく、御子によって世が救われるためである。御子を信じる者は、裁かれない。
- ヨハネによる福音書 3:17-18: 神は御子を世に遣わされたのは、世を裁くためではなく、御子によって世が救われるためである。御子を信じる者は裁かれない。信じない者は、すでに裁かれている。神のひとり子の名を信じなかったからである。
- ヨハネによる福音書 5:24: まことに、まことに、あなたがたに言います。わたしの言葉を聞き、わたしを遣わされた方を信じる者は、永遠の命を得ます。その人は裁きを受けることなく、死から命へと移ったのです。
- ローマ人への手紙 8:1: それゆえ、今やキリスト・イエスにある者には、罪の定めはない。
- ヨハネの手紙一 2:1-2: 愛する子どもたちよ、私がこれらのことをあなたがたに書くのは、あなたがたが罪を犯さないためです。しかし、もし誰かが罪を犯したとしても、私たちには父なる神のもとに弁護者、すなわち義なるイエス・キリストがおられます。この方は、私たちの罪のための贖いであり、私たちの罪のためだけでなく、全世界の罪のためでもあるのです。
- テモテへの手紙第二 4:8: 今から後、義の冠が私のために用意されています。義なる審判者である主が、かの日にそれを私に授けてくださるのです。私だけでなく、主の現れを待ち望んでいるすべての人にも授けてくださるのです。

C. 神の裁きの基準と根拠

1. 行い、言葉、そして業績に基づく

- マタイによる福音書 12:36-37: わたしはあなたがたに言います。裁きの日には、人は自分の口にしたすべての無益な言葉について弁明しなければなりません。あなたの言葉によってあなたは義とされ、あなたの言葉によってあなたは罪に定められるからです。
- マタイによる福音書 25:14-30: それは、旅に出る人がしもべたちを呼び、自分の財産を彼らに預けたようなものです。ある者には五タラント、別の者には二タラント、また別の者には一タラントを、それぞれの能力に応じて与えました。そして、旅に出ました。五タラントを受け取った者は、すぐにそれを使って商売をし、さらに五タラントを儲けました。二タラントを受け取

った者も、同じように二タラントを儲けました。ところが、一タラントを受け取った者は、行って地面を掘り、主人の金を隠しました。しばらくして、しもべたちの主人が来て、彼らと清算をしました。五タラントを受け取った者が進み出て、さらに五タラントを持ってきて言いました。「ご主人様、あなたは私に五タラントをお預けになりました。ご覧ください、私はさらに五タラントを儲けました。」主人は彼に言いました。「よくやった、忠実で良いしもべよ。あなたはわずかなことに忠実であったから、多くのことを任せよう。主人の喜びを分かち合いなさい。」二タラントを受け取った者も進み出て言った。「ご主人様、あなたは私に二タラントをお預けになりました。ご覧ください、私はさらに二タラントを造りました。」主人は彼に言った。「よくやった、忠実で良いしもべよ。あなたはわずかなことに忠実であったから、多くのことを任せよう。主人の喜びを分かち合いなさい。」一タラントを受け取った者も進み出て言った。「ご主人様、私はあなたが厳しい方で、蒔いていない所から刈り取り、種をまかなかった所から集める方だと知っていました。それで私は恐れて、行ってあなたのタラントを地中に隠しました。さあ、これがあなたのものです。」しかし主人は彼に答えた。「怠惰で悪いしもべよ！あなたは私が蒔いていない所から刈り取り、種をまかなかった所から集めることを知っていたのか。それなら、私の金を銀行家に預けておくべきだった。そうすれば、私が帰ってきたときに、利息をつけて自分のものを受け取ることができたはずだ。だから、そのタラントを彼から取り上げて、十タラントを持っている者に与えなさい。持っている者にはさらに与えられ、豊かになる。しかし、持っていない者からは、持っているものさえも取り上げられる。そして、その役立たずのしもべを外の暗闇に追い出さなさい。そこでは、泣き叫び、歯ぎしりをするであろう。(タラントのたとえ話。神から与えられた資源の管理と忠実な使用に基づく裁きを強調している。)

- コリント人への手紙第一 3:11-15: なぜなら、すでに据えられている土台、すなわちイエス・キリスト以外に、だれも別の土台を据えることはできないからです。もしだれかがその土台の上に、金、銀、宝石、木、干し草、わらなどで建てたとしても、それぞれの行いは明らかになります。その日がそれを明らかにするからです。
- コリント人への手紙第二 5:9-10: ですから、私たちは家にいても旅先でも、神を喜ばせることを目標としています。なぜなら、私たちは皆、キリストの裁きの座の前に立たなければならないからです。そして、一人ひとりが、肉体において行ったこと、善であれ悪であれ、それに応じて報いを受けるのです。
- コリント人への手紙第二 5:10: 私たちは皆、キリストの裁きの座の前に立たなければならないからです。それは、各自が肉体において行ったこと、善であれ悪であれ、それに応じて報いを受けるためです。

- ヨハネの黙示録 20 章 12 節：そして私は、死んだ者たち、身分の高い者も低い者も、玉座の前に立っているのを見た。そして書物が開かれた。それから別の書物、すなわち命の書が開かれた。そして死んだ者たちは、書物に書かれていることに従って、彼らの行いに応じて裁かれた。
- ヨハネの黙示録 22 章 12 節：見よ、わたしはすぐに来る。わたしは報いを持って来て、一人ひとりにその行いに応じて報いる。

2. 慈悲、信仰、そして断罪からの救済

- マルコによる福音書 16:16: 信じてバプテスマを受ける者は救われる。しかし、信じない者は裁かれる。
- ヤコブ 2 章 13 節：憐れみを示さなかった者には、憐れみのない裁きが下される。憐れみは裁きに打ち勝つ。
- ヤコブの手紙 5:12: 兄弟たちよ、何よりもまず、天にかけても、地にかけても、また他のどんな誓いによっても、誓ってはなりません。あなたがたの言う「はい」は「はい」、「いいえ」は「いいえ」にしてください。そうすれば、あなたがたは裁きを受けることがないでしょう。
- ヨハネの手紙一 4:17: このことによって、愛は私たちの中で完成されます。それは、私たちが裁きの日にも確信を持つことができるためです。なぜなら、キリストがそうであるように、私たちがこの世でそのようであるからです。

III. 審判における信者と聖人の役割

A. 聖人たちによる世界、天使、そして部族の裁き

- マタイによる福音書 19:28: イエスは彼らに言われた。「まことに、あなたがたに言います。新しい世において、人の子が栄光の座に着くとき、わたしに従ってきたあなたがたもまた、十二の座に着き、イスラエルの十二部族を裁くでしょう。」
- コリント人への手紙第一 6:1-5: (IC1 との相互参照。聖徒たちが世界を裁くことと天使たちについて強調している。)
- ヨハネの黙示録 20 章 4 節：それから私は玉座を見た。そしてその上に座っている者たちには、裁く権威が与えられていた。

B. 教師および指導者に対するより厳格な判断基準

- ルカによる福音書 12:42-48: (忠実な僕のたとえ話；要点：多く与えられた者には、多くが求められる…)
- ヤコブ 3:1: 兄弟たちよ、あなたがたの中で教師になろうとする者は多くあってはなりません。なぜなら、あなたがたは、教える者はより厳しく裁かれることを知っているからです。

IV. 終末論的審判（審判の日と最終決着）

このセクションは、ヘブライ人への手紙 6 章 1-2 節の「死者の復活」と「永遠の裁き」という根本的な教義に焦点を当て、これらが切り離せないものであることを描写しています。復活はすべての人を生き返らせ、責任を問うために、永遠の裁きの取り消し不可能な結果へと導きます。聖書本文は、死後の中間状態（シェオル／ハデス、休息と苦痛のための区画がある）を強調しており、肉体の復活を待つ即時の天国ではありません。エノク書 1 章 22 節（ルカによる福音書 16 章 19-31 節と同様に、シェオル／ハデスにおける聖書の区分を反映している）からの洞察は、光り輝く安息にある義人の魂と暗闇にある悪人の魂を隔てる「空洞の場所」を描写しており、復活と裁きの前のこの暫定的な段階を強調しています。

A. 最終審判の時期と必然性

1. 死後および終末の時代に任命される

- マタイによる福音書 24:36: しかし、その日、その時については、だれも知らない。天の御使いたちも、子も知らない。ただ父だけが知っておられる。
- マタイによる福音書 25:1-13: そのとき、天の御国は、ランプを持って花婿を迎えに出かけた十人の乙女にたとえられます。そのうち五人は愚かで、五人は賢かった。愚かな乙女たちはランプを持って行ったが、油は持っていなかった。しかし、賢い乙女たちはランプと一緒に油の入った壺を持って行った。花婿がなかなか来なかったので、乙女たちは皆うとうとして眠ってしまった。ところが真夜中に、「花婿だ！ 迎えに出なさい！」という叫び声が出た。すると、乙女たちは皆起きてランプの手入れをした。愚かな乙女たちは賢い乙女たちに言った。「私たちのランプの油が消えそうなので、油を少し分けてください。」しかし、賢い乙女たちは答えて言った。「私たちとあなたたち両方に足りなくなるでしょうから、それよりも、油屋に行って自分で買いなさい。」彼女たちが買いに行っている間に、花婿がやって来た。準備のできていた乙女たちは花婿と一緒に結婚披露宴に入り、戸は閉められた。その後、他の乙女たちもやって来

て、「主よ、主よ、私たちに開けてください」と言った。しかし、イエスは答えて言われた。「まことに、あなたがたに言います。私はあなたがたを知りません。」だから、目を覚ましていなさい。あなたがたは、その日もその時も知らないのだから。(十人の乙女のたとえ話。突然の裁きの到来に備え、常に準備しておくことの必要性を強調している。)

- ヘブライ人への手紙 9:27-28: 人間には一度死ぬことが定められており、その後に裁きがあるように、キリストも多くの人の罪を負うために一度献げられ、二度目に現れるときには、罪を裁くためではなく、熱心にキリストを待ち望んでいる人々を救うために現れるのです。
- ヘブライ人への手紙 9:27: 人間には一度死ぬことが定められており、その後には裁きがある。

2. 突然性と準備

- ペテロの手紙第二 3:10-13: しかし、主の日は盗人のように来る。その日には、天は轟音とともに消え去り、天体は燃え尽きて溶け、地とその上で行われるすべての業はむき出しになる。…しかし、私たちは神の約束に従って、義の宿る新しい天と新しい地を待ち望んでいる。

B. 審判の日の出来事の説明

1. 死者の復活

この小節は、復活が永遠の裁きへの入り口であることを強調するために拡張されており、旧約聖書の示唆（例えば、シェオルが待機場所であること）と新約聖書の成就に基づいています。エノク書 22 章の区分された死後の世界（義人は明るい領域、悪人は暗い領域）は、ルカによる福音書 16 章の裂け目で分断されたハデスと一致しており、死を意識的に待つ中間状態への入り口として描いています。義人は楽園（ルカ 23:43、ギリシャ語の *paradeisos* はエデンの園の安息を反映しています）、悪人は苦しみの中で、最終的な裁きのための肉体の復活まで続きます。

- ダニエル書 12 章 1-3 節: その時、あなたの民を治める大いなる君、ミカエルが立ち上がる。そして、国が始まって以来、その時までかつてなかったような苦難の時が来る。しかし、その時、あなたの民は救われる。書物に名前が記されている者は皆救われる。地の塵の中に眠っている多くの者が目を覚ます。ある者は永遠の命に、ある者は恥辱と永遠の蔑みに。賢い者は天の輝きのように輝き、多くの人を義に導く者は星のように永遠に輝く。(復活の預言、裁き、永遠の命か蔑みかの結果)
- ヨハネによる福音書 5:28-29: このことに驚いてはならない。墓の中にいるすべての者が彼の声を聞いて出てくる時が来る。善を行った者は命の復活に、悪を行った者は裁きの復活に至る。

- 使徒行伝 24:14-15: しかし、私はあなた方に告白します。彼らが異端と呼ぶ道に従って、私は先祖の神を礼拝し、律法に定められ、預言者に書かれているすべてのことを信じ、義人も不義人も復活するという、彼ら自身も認めている神への希望を抱いています。
- コリント人への手紙第一 15:51-52: 見よ、わたしはあなたがたに一つの奥義を告げよう。わたしたちは皆眠りにつくわけではないが、皆変えられる。一瞬のうちに、瞬きする間に、最後のラッパの音とともに。ラッパが鳴り響くと、死者は朽ちない体によみがえり、わたしたちは変えられる。(キリストの再臨における復活の描写であり、最後の審判と結びついている。)
- テサロニケ人への手紙第一 4:16-17: 主ご自身が、号令の声、大天使の声、そして神のラッパの音とともに天から降りて来られます。そして、キリストにあって死んだ人々がまずよみがえり、それから、生き残っているわたしたちが、彼らとともに雲の中に引き上げられ、空中で主にお会いします。こうして、わたしたちはいつまでも主とともにいるのです。(キリストの再臨の際の信者の復活、裁きに先立つ出来事。)
- ヨハネの黙示録 20 章 4-6 節: それから私は、玉座を見た。その上には、裁く権威を与えられた者たちが座っていた。また、イエスの証しと神の言葉のために首をはねられた者たちの魂と、獣とその像を拝まず、額にも手にも獣の刻印を受けなかった者たちの魂を見た。彼らは生き返り、キリストと共に千年間統治した。残りの死者は、千年間が終わるまで生き返らなかった。これが第一の復活である。第一の復活にあずかる者は幸いであり、聖なる者である。このような者には第二の死は何の力も及ぼさない。彼らは神とキリストの祭司となり、キリストと共に千年間統治するであろう。(義人の第一の復活と、後の裁きのための復活との区別。)
- ヨハネの黙示録 20 章 13 節: すると、海はその中にいる死者を出し、死とハデスもその中にいる死者を出した。そして、彼らはそれぞれ自分の行いに応じて裁かれた。(これは、裁きのための普遍的な復活を暗示している。)

2. 正義と悪の分離

復活後には永遠の裁きが訪れ、取り返しのつかない運命が定められます。これは、現代のキリスト教徒によくある誤解を解消するものです。多くの信者は、「体から離れ、主のもとにいる」(コリント第二 5:8) といった言葉に基づいて、死後すぐに天国に入ると信じています。しかし、これは聖書に記されている中間状態、すなわち、復活を待つ魂がパラダイス(義人の安息)にいるか、あるいはハデスの苦しみの中において、深い裂け目(ルカ 16:26、ギリシャ語 *chasma mega*) によって隔てられているという状態を見落としています。聖書は死後も意識が残ることを肯定していますが(例えば、ヨハネの黙示録 6:9-11 の魂の叫び)、完全な天の栄光は復活後の裁きのために取っておかれています(ヨ

ハネ 3:13、テサロニケ第一 4:13-17)。エノクの分割は、天国を直接示すのではなく、この一時的な区分けを強化し、肉体の復活後の裁きの公平性を保証するものです。

- マタイによる福音書 10:15: まことに、あなたがたに言います。裁きの日には、ソドムとゴモラの地の方が、その町よりも耐えやすいでしょう。
- マタイによる福音書 12:36-37: わたしはあなたがたに言います。裁きの日には、人は自分の口にしたすべての無益な言葉について弁明しなければなりません。あなたの言葉によってあなたは義とされ、あなたの言葉によってあなたは罪に定められるからです。
- マタイによる福音書 25:31-46: 人の子が栄光のうちに来るとき、すべての天使たちも共に来る。そして、その栄光の座に着く。すべての国民が彼の前に集められ、彼は羊飼いが羊と山羊を分けるように、人々を分け、羊を右に、山羊を左に置く。それから王は右にいる者たちに言う。「わたしの父に祝福された者たちよ、来なさい。世の初めからあなたがたのために用意されている王国を受け継ぎなさい。わたしは飢えていたとき、あなたがたはわたしに食べ物を与え、渴いていたとき、飲み物を与え、旅人であったとき、わたしを迎え入れ、裸であったとき、着る物を与え、病気であったとき、わたしを見舞い、牢にいたとき、わたしを訪ねてくれたからだ。」すると、正しい者たちは答えて言う。「主よ、いつ私たちはあなたが飢えているのを見て食べ物を与え、渴いているのを見て飲み物を与えたのでしょうか。「いつ私たちはあなたが旅人であるのを見て迎え入れ、裸であるのを見て着物を与えたのでしょうか。また、いつ私たちはあなたが病気であったり牢獄にいたりするのを見て訪ねたのでしょうか。」すると王は彼らに答えるでしょう。「まことに、あなたがたに言います。あなたがたがこれらの私の兄弟たちの中で最も小さい者の一人にしたことは、私にしたことなのです。」それから王は左にいる者たちに言うでしょう。「呪われた者たちよ、私から離れて、悪魔とその使いたちのために用意された永遠の火の中へ行きなさい。私は飢えていたのに、あなたがたは私に食べ物を与えず、渴いていたのに、飲み物を与えず、旅人であったのに迎え入れず、裸であったのに着物を与えず、病気であったり牢獄にいたりしたのに訪ねなかったからです。」すると彼らも答えて言うでしょう。「主よ、いつ私たちはあなたが飢えているのを見たり、渴いているのを見たり、旅人であったのを見たり、裸であったのを見たり、病気であったのを見たり、牢獄にいたりするのを見たりして、あなたに仕えなかったのでしょうか。」するとイエスは彼らに答えて言われるでしょう。「まことに、あなたがたに言います。これらの最も小さい者の一人にしたことは、わたしにしなかったことなのです。」そして、これらの者たちは永遠の刑罰に、正しい者たちは永遠の命に入るでしょう。(羊と山羊のたとえ話の全文を添え、キリストへの奉仕として他者への慈悲と憐れみの行いに基づく裁きを例示しています。)

- マタイによる福音書 25:36-41: (羊/山羊の一部。鍵となる言葉: それから彼は左にいる者たちに言うだろう。「呪われた者たちよ、わたしから離れて、悪魔とその使いたちのために用意された永遠の火の中へ行け。」)

3. 天使と不信心者への裁き

- ペテロ第二 2:4: 神は罪を犯した天使たちを容赦せず、地獄に投げ込み、裁きの日まで暗闇の鎖につないで閉じ込めておかれたのです。
- ペテロ第二 2:9: 主は、敬虔な者を試練から救い出し、不義な者を裁きの日まで罰の下に留めておく方法をご存知です。
- ペテロ第二 3:7: しかし、同じ言葉によって、今ある天と地は火のために蓄えられ、不敬虔な者たちの裁きと滅びの日まで保たれているのです。
- ユダ 1:6: また、自分の権威の地位にとどまらず、本来の住まいを離れた天使たちを、神は永遠の鎖で暗闇の中に閉じ込め、大いなる日の裁きまで留めておられる。

4. 偉大なる白の玉座と書物が開かれる

- 黙示録 11 章 18 節：諸国は騒ぎ立てたが、あなたの怒りが臨み、死者を裁く時が来た。また、あなたのしもべである預言者たちと聖徒たち、そしてあなたの名を畏れる者たち、小さい者も大きい者も、報いを与える時が来た。また、地を滅ぼす者たちを滅ぼす時が来た。
- 黙示録 13 章 8 節：地上に住む者は皆、それを拝むであろう。ただし、世の初めから屠られた小羊の命の書に名前が記されていない者を除く。
- ヨハネの黙示録 20 章 1-15 節：(千年王国と最後の審判；要点：それから私は大きな白い玉座を見た…そして死者たちは、書物に書かれていることに従って、彼らの行いに応じて裁かれた。)
- ヨハネの黙示録 20 章 1-15 節：(詳細な説明；要点：それから私は天使を見た…そして私は死んだ者たち、身分の高い者も低い者も、玉座の前に立っているのを見た。そして書物が開かれた…)
- 黙示録 20 章 7 節：千年が終わると、サタンは牢獄から解放される。
- ヨハネの黙示録 20 章 11-15 節：それから私は、大きな白い玉座と、そこに座っておられる方を見た。その方の御前から地と天は逃げ去り、それらの場所はもはや見当たらなかった。そし

て私は、死んだ者たち、大いなる者も小さな者も、玉座の前に立っているのを見た。そして書物が開かれた。

- ヨハネの黙示録 20:11-15: それから私は、大きな白い玉座と、そこに座っておられる方を見た。その方の御前から地と天は逃げ去り、それらの場所はもはや見当たらなかった。そして私は、死んだ者たち、大小を問わず、玉座の前に立っているのを見た。そして書物が開かれた。…そして、命の書に名前が記されていない者は、火の池に投げ込まれた。
- ヨハネの黙示録 20 章 12 節：そして私は、死んだ者たち、身分の高い者も低い者も、玉座の前に立っているのを見た。そして書物が開かれた。それから別の書物、すなわち命の書が開かれた。そして死んだ者たちは、書物に書かれていることに従って、彼らの行いに応じて裁かれた。

C. 最終判決の結果

1. 報い、新たな創造、そして永遠の命

- ヨハネの黙示録 21 章 4 節：神は彼らの目からすべての涙をぬぐい取ってくださる。もはや死はなく、悲しみも、叫びも、苦しきもない。以前のことは過ぎ去ったからである。

2. 永遠の罰と第二の死

- マタイによる福音書 25:46: そして、これらの者たちは永遠の刑罰に、正しい者たちは永遠の命に入るであろう。
- ヨハネの黙示録 20 章 14-15 節：それから、死とハデスは火の池に投げ込まれた。これが第二の死、すなわち火の池である。また、命の書に名前が記されていない者は、火の池に投げ込まれた。(復活と裁きの後に不義なる者たちが受ける最終的な結果を強調するために付け加えられた。)

結論

要約すると、聖書の裁きに関する教えは、信者が日常生活において賢明な識別力を働かせつつ、最終的な権威を神とキリストに委ねるよう促す、バランスの取れた見解を示しています。偽善的な裁きに対する警告から、信仰による憐れみの約束まで、聖書は行い、言葉、そして心の意図に基づく責任を強調しています。神の裁きの前兆としての死者の復活を含む、審判の日の終末論的ビジョンは、義人に対する贖いの希望と、不義人に対する厳しい結果という現実を強調し、最終的には義が宿る新しい創造へと至ります。この階層的な研究は、読者が誠実に生き、霊的な成熟を追求し、裁き主であり弁

護者でもあるイエスを信頼し、神の正義と愛に満ちた性質に沿った生活を送るよう促します。さらに深く考察するために、これらの原則が今日の個人の倫理観や共同体における交流にどのように適用されるかを考えてみてください。